

Mizuho Daily Market Report

2024/3/15

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.88	148.33	+0.57	+0.28
EUR	1.0936	1.0883	▲0.0065	▲0.0065
AUD	0.6619	0.6581	▲0.0040	▲0.0039
SGD	1.3326	1.3360	+0.0037	+0.0028
CNY	7.1926	7.1943	+0.0075	+0.0017
MYR	4.6890	4.6860	+0.0000	▲0.0192
THB	35.67	35.62	▲0.11	+0.05
IDR	15581	15582	+4	▲71
PHP	55.40	55.41	+0.00	▲0.44
INR	82.84	82.83	▲0.03	+0.04
VND	24696	24700	+30	+10

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.290%	+10.0 bp	+20.8 bp
日本(10年)	0.777%	+1.0 bp	+4.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.426%	+6.0 bp	+12.0 bp
オーストラリア(5年)	3.724%	+3.4 bp	+5.3 bp
シンガポール(5年)	3.009%	+2.2 bp	+2.5 bp
中国(5年)	2.257%	+0.1 bp	+5.2 bp
マレーシア(5年)	3.564%	+0.9 bp	+1.1 bp
タイ(5年)	2.217%	+2.3 bp	▲1.9 bp
インドネシア(5年)	6.527%	+1.8 bp	+2.0 bp
フィリピン(5年)	6.088%	▲0.3 bp	+0.4 bp
インド(5年)	7.056%	+0.4 bp	+0.2 bp
ベトナム(5年)	1.750%	+6.0 bp	+25.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,905.66	▲0.4%	+0.3%
N225(日本)	38,807.38	+0.3%	▲2.0%
STOXX50(ユーロ圏)	4,993.12	▲0.1%	+0.4%
ASX(オーストラリア)	4,228.42	▲0.4%	+0.5%
FTSE(シンガポール)	3,186.40	+0.8%	+1.7%
SSEC(中国)	3,038.23	▲0.2%	+0.4%
SENSEX(インド)	73,097.28	+0.5%	▲1.4%
JKSE(インドネシア)	7,433.32	+0.2%	+0.8%
KLSE(マレーシア)	1,543.75	+0.4%	+0.5%
PSE(フィリピン)	6,967.96	+0.0%	+1.9%
SETI(タイ)	1,394.93	+0.8%	+1.7%
VNINDEX(ベトナム)	1,264.26	▲0.5%	▲0.3%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	282.95	+0.7%	+1.4%
金	2,162.19	▲0.6%	+0.1%
原油(WTI)	81.26	+1.9%	+3.0%
銅	8,833.46	+0.0%	+3.4%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.60	—	149.00
EUR/USD	1.0740	—	1.0900
AUD/USD	0.6490	—	0.6690
USD/SGD	1.3250	—	1.3480
USD/CNY	7.1750	—	7.2280
USD/INR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	35.20	—	36.78
USD/IDR	15530	—	15700
USD/PHP	55.00	—	56.30
USD/INR	82.30	—	83.20
USD/VND	24,300	—	24,700

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は147円台半ばでオープン。米金利の上昇を受けドルに買い戻しが入ったことに加え、引けにかけて日経平均株価がプラスに転じたことも好感され148円台手前まで上昇し、海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に小動き。海外時間に複数の米経済指標の発表を控える中、アジア時間については全般的に様子見の展開となった。

海外市場のドル円は147円台後半でNYオープン。NY朝方には複数の米経済指標の結果が発表され、米2月コアPPI(前月比)が予想を上回り、米インフが依然高止まりしている事が示された一方、米2月小売売上高(前月比)は予想を下回り、強弱混合の結果となる。発表直後は147円台半ばから147円台後半で慌ただしく上下するも、徐々にドル買いが優勢となり、その後148円ちょうど付近まで上昇。続いて一部で報道された「日銀が来週に開く金融政策決定会合でマイナス金利政策を解除する方向で調整に入った」との速報が伝わると、瞬時に147円台半ばまで円が買われる。しかし、円買いは長く続かず、その後も米金利が上昇幅を拡大する展開に買いが優勢となり、148円台前半まで上伸。NY午後は米金利が高水準で推移する展開がドル高基調を強め、148円台前半まで上昇。その後も高値圏での推移が続き、148円台前半でクロスした。

【金利】

金利市場は、長期を中心に大幅上昇。米2月PPIをはじめ、新規失業保険申請件数なども強い結果となったことで、今週のCPIと同様に発表後早期利下げ観測が後退し、金利が上昇した。足元では6月の利下げ観測が低下しており、今年3回の利下げが行われるかどうか市場の注目材料となっている。

【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。本日は春闘の第一回集計結果の発表に注目が集まるが、来週の日銀会合におけるマイナス金利解除が相応に織り込まれていることを踏まえると円買いの反応は限定的か、昨日発表された米経済指標の結果を受け米金利が上昇する中、ドル買いが優勢となると予想する。

【本日の予定】

- (日本) 1月 第3次産業活動指数
- (日本) 輪番 1-3y、3-5y、5-10y、25y超
- (アジア) 1月 フィリピン 海外フィリピン人労働者送金
- (アジア) 1月 フィリピン 財政収支
- (アジア) 2月 インドネシア 貿易収支
- (アジア) 2月 中国 新築住宅価格
- (アジア) 中国 MLF(1Y)
- (米国) 2月 輸出物価指数 / 輸入物価指数
- (米国) 2月 鉱工業生産 / 設備稼働率 / 製造業
- (米国) 3月 ニューヨーク連銀製造業景気指数
- (米国) 3月 ミシガン大学消費者マインド(速)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。